

おひさまだより

神戸市社会福祉協議会では、若年性認知症交流会「おひさま」の定期開催や、おひさまだよりの発行を通して、若年性認知症のご本人やご家族同士が出会い、若年性認知症についての理解が広がることを目指しています。
No.12 平成26年9月発行

「また来ます！」が聞きたくて。

毎回終わりの会で、今日はいかがでしたか？と、みなさんにマイクを回します。

ある参加者の方の十八番のコメント「また来ます！」が出ると、待ってました！とばかりに周囲はニヤリ。最近では、このコメントを聞くのがすっかり恒例です。

ドクターとのざっくばらんな情報交換会、口腔ケアやタッチケア等各種講習会に参加し「勉強になった」、また、ボランティアさんの愛情いっぱいランチに「お腹いっぱい、美味しかった！」、そして、初めて参加された方は「あたたかい雰囲気で来てよかった」と言ってくさいます。

交流会が始まって4年目。メンバーの入れ替わりも見られますが、このあたたかい雰囲気が続いているのは、今まで参加されてきたみなさまが作ってこられたものだからだと思います。

お互いの言葉に頷き、いたわりあう姿は、自然と引き継がれているようです。開始前、ご本人に対し他のご家族が「久しぶり～変わらない？」などと声をかけている様子からもそのあたたかさはいかがえします。

スタッフも、毎回みなさまのあたたかさに触れ、次回もたくさんの「また来ます！」が聞けることを願いながら、今後もみなさまと一緒に交流会を続けていきたいと思っています。



「元気でがんばる！」
短冊にも願いを込めて。

若年性認知症交流会「おひさま」会場変更について（お知らせ）

毎月第3土曜日の若年性認知症交流会「おひさま」は、平成26年10月より会場を変更して、下記のとおり開催します。

＜日時＞毎月第3土曜日 10:30～15:00

＜場所＞こうべ市民福祉交流センター（神戸市中央区磯上通3-1-32）



＜アクセス＞

- JR「三ノ宮駅」、阪急・阪神・地下鉄「三宮駅」から 徒歩15分
- 市バス⑦系統「市民福祉交流センター前」の正面
- ポートライナー「貿易センター」から徒歩5分（貿易センター駅から地上への連絡は階段の利用となります）

＜参加費＞茶話会代200円、昼食弁当代実費（500円程度）

※昼食等を調理するときは1日500円とします。

会場（集合場所）および参加費はプログラムにより変更することがあります。

毎月の開催チラシにてご案内いたしますのでご確認ください。



初期・若年性認知症特化型デイサービスの開設

平成25年9月より、初期・若年性認知症の方の居場所づくりの取り組みとして試行実施してきた「木曜おひさまクラブ」は、平成26年9月より、介護保険事業に移行し、初期・若年性認知症特化型デイサービスとして新たにスタートしました！

◆◆◆ 初期・若年性認知症特化型デイサービス（愛称：おひさまクラブ） ◆◆◆

＜事業所＞須磨在宅福祉センター（神戸市須磨区大田町7-3-15）

＜実施日＞毎週木曜日（祝日含む）10:00～15:30

＜定員＞12名

＜利用対象＞初期・若年性認知症で、要支援または要介護の認定を受けている方

＜サービス提供エリア＞神戸市須磨区 ※家族送迎・自力通所できる場合、応相談

＜プログラム＞健康体操、屋外活動（公園での運動プログラム等）、調理、脳トレゲーム、音楽、地域清掃・ジャンボ紙芝居公演等の社会活動、他

※利用者様同士のコミュニケーション活性化に努め、仲間づくりを支援します

◆◆◆ おひさまカフェ（初期・若年性認知症のご家族のつどい） ◆◆◆

デイサービス（おひさまクラブ）提供中、初期・若年性認知症の方のご家族への情報提供、介護者同士が交流を図る場として、「おひさまカフェ」を実施しています。

「神戸市若年性認知症デイサービス・デイケア職員研修」実習実施中です

デイサービス・デイケア職員が若年性認知症の方を支援するうえで必要な情報を提供するため、神戸市主催により、「若年性認知症デイサービス・デイケア職員研修」が実施されています。

研修では、“原因疾患別のサポートのあり方について”をテーマに実施される2回の講義に加え、老人保健施設・青い空の郷（神戸市北区）が実施する若年認知症サロン、または、神戸市社協が実施する若年性認知症交流会おひさま、木曜おひさまクラブのいずれかで、1日実習が行われます。

木曜おひさまクラブで実習された方の感想をいくつかご紹介します。

- ・若年性認知症の方のリハビリ意欲には驚きました。また、それを支えるご家族の支え（愛情）があってこそ木曜おひさまクラブだと思いました。
 - ・若年性認知症の方は、サービス利用までのハードルが高く、結果、重度化してしまう。早期の利用開始で進行を遅らせ、能力を維持することができるということ。サービスの浸透が必要と感じた。
 - ・今回の体験はとても貴重であった。このような場があることを多くの人が必要だと思う。初期段階での在宅ケアのサポートとして、このような取り組みが広がれば良いと思う。
 - ・ご本人のみならず、ご家族にとっても心のよりどころになっている。一般のデイだけでなく若年性認知症デイの必要性も高くなってきていると感じられました。
- ★おひさまでの実習を通じ、デイサービス・デイケアの現場に若年性認知症に対する理解・支援の輪が広がっていくことを期待しています。

朝夕涼しくなり、散歩が気持ち良い季節になりましたね。11月のおひさまでは、日帰りバス旅行を計画中です！行き先のキーワードは…「玉ねぎ・橋・オアシス」です。お楽しみに！

＜若年性認知症交流会おひさま お問い合わせ先＞

神戸市社会福祉協議会 福祉事業課

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1-32

こうべ市民福祉交流センター4階

電話 078(271)-5316

FAX 078(271)-5366

Mail zaitaku@with-kobe.or.jp

URL http://www.with-kobe.or.jp